

1 実証内容



【概要】

車両の安全性、交通の安全性等を確認し、適切な制限に関する提案を行うため、令和元年10月から令和2年4月までの間、九州大学構内において、立ち乗り電動スクーターのシェアリング実証を実施。

【計画内容】

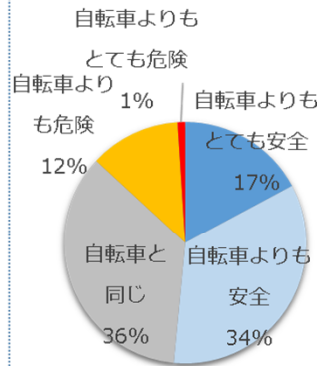
- ・ 走行範囲は一般交通と遮断。
- ・ 運転者は、18歳以上（免許を有していない者も含む）。
- ・ 前輪駆動、後輪駆動の2種類を使用。
- ・ 最高時速：25km/h（実験時18km/h）
- ・ ヘルメットは着用



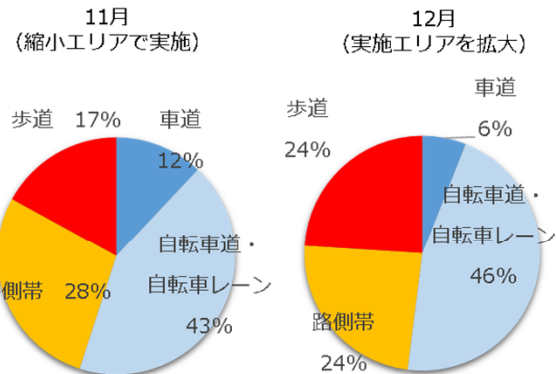
2 結果

○ 立ち乗り電動スクーターの利用者及び非利用者に対するアンケート結果（抜粋）

普通自転車と比較した安全性



一般的に走行できる通行区分として適切なのはどれか



3 制度改正の要望

- 通行帯：普通自転車と同程度の走行速度の場合は自転車レーンを走行できるようにするなど、他の交通主体との相対的な速度を考慮し、適切な走行箇所を利用者が選択できる制度設計が必要である
- ヘルメット：汚れの清掃、保管場所の確保等は困難であり、事業として成立させるため、ヘルメットの着用については任意としてほしい

1 実証内容



【概要】

車両の安全性、交通の安全性等を確認し、適切な制限に関する提案を行うため、令和元年10月から12月までの間、横浜国立大学構内において、立ち乗り電動スクーターのシェアリング実証を実施。

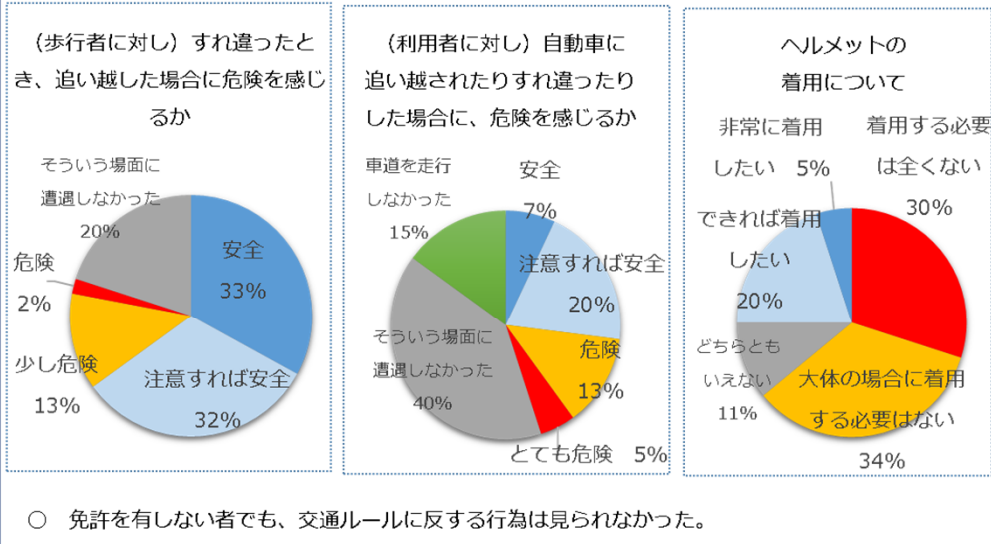
【計画内容】

- ・ 走行範囲は一般交通と遮断。
- ・ 運転者は、18歳以上（免許を有していない者も含む）。
- ・ 二輪、三輪、四輪の3種類を使用。
- ・ 最高時速：20km/h
- ・ ヘルメットは任意（推奨）



2 結果

- 立ち乗り電動スクーターの利用者、実証中のコースを通行している歩行者及び自動車運転手等の他の通行主体に対するアンケート結果（901件）（抜粋）



3 制度改正の要望

- 通行帯： 自転車専用通行帯、自転車歩行者道、自転車道を走行できるようにしてほしい
- ヘルメット： 衛生面の観点からシェアリング事業では困難であり、法律上の着用義務については緩和してほしい
- 免許： 外国人にも利用してもらいたいことから、免許保有義務を緩和してほしい

mobby ride株式会社



【評価】

- 利用者のアンケートによると、自転車と同等程度の安全性・操作性であるとの回答が多数
- 自転車レーン等の走行を要望する声が約半数
- ヘルメットのシェアリングには課題あり
- 他方、大学構内であり、利用者、歩行者、自動車等の運転者は大学関係者が多い
(年齢等に偏りがあることは否めない)

Luup株式会社



【評価】

- シェアリング事業に対する一定の需要が存在
- ほとんどの者が数分以内に乗り方を習得
- 面倒さや衛生面などから、ヘルメットのシェアリングを希望しない声が多数
- 安全上、車道以外の自転車レーン等に回避したいという声が、多数
- 一方、歩道や路側帯において危険を感じた歩行者も一定数存在

【対応】

- 本年10月～来年3月までの新事業特例において、普通自転車専用通行帯における自転車等との混在の安全性を検証
- 事業者や警察庁が行う地域住民・一般国民へのアンケートにより、社会的受容性を検証
- G7各国等における事故状況・交通ルールの在り方を調査
- 警察庁の有識者検討会において、他のモビリティとの関係性も含め議論